

平成 28 年度 シラバス

1	名 称	福島県の森林保全・地域活性化を体験して考える			
2	計 画 者	所属	福島大学 経済経営学類	職名	准教授
		氏名	沼田 大輔		
3	協力する教員	① 所属	福島工業高等専門学校 コミュニケーション情報学科	職名	教授
		氏名	芥川 一則		
		② 所属	会津大学 グローバル推進本部 国際戦略室	職名	准教授
		氏名	川口 立喜		
		③ 所属	桜の聖母短期大学 キャリア教養学科	職名	准教授
		氏名	三瓶 千香子		
4	対象となる学生	学 年	制限なし		
		専攻分野等	制限なし		
5	目的とねらい	福島県は、全国 4 位の森林面積を有し、県土の 7 割は森林です。しかしながら、その森林を保全していく担い手は不足しています。そして、その森林を豊富に有する中山間地域は、過疎化・高齢化が深刻化しています。このプログラムでは、学生が、今後の福島県の森林保全、中山間地域の活性化に貢献できる人材になる契機を提供しようとするものです。今年度は、都市経済学や演習の授業との連動をより強く意識し、事前学習・事後学習をよりしっかり行い、学習成果を十分に得られるように進めます。			
6	具体的な計画	実施時期	内 容		
		9 月中下旬	南会津町中荒井地区で「もりづくりワークショップ」(1泊2日)を実施(COCの「地域志向教育研究経費」もしくは ACF 事業を想定)		
		10 月下旬	南会津町中荒井地区の如活祭への参画(日帰り) (COCの「みらいパス」もしくは ACF 事業を想定)		
		12 月上旬	福島県の集落復興支援事業が行われている「中山間地域の視察」 (1泊2日を想定)(ACF 事業を想定)		
		1 月中旬	南会津町中荒井地区の「歳の神」への参画 (福島県庁「大学生の力を活用した集落復興支援事業」を想定)		
		1 月	福島大学周辺で、森林・中山間地域に関するイベントを実施(COCの「地域志向教育研究経費」、福島県庁「大学生の力を活用した集落復興支援事業」および、ACF 事業を想定)		
7	内容と期待される学修成果		内 容	期待される学修成果	Step
		基本的な姿勢	都市経済学と連動した中山間地域の視察	森林保全・地域活性化について、どのように大学で学問として学ぶことができるかを理解し説明することができる	3
		課題探究力	もりづくりワークショップ、如活祭、中山間地域の視察への参画	体験を通じて、森林保全・地域活性化のあり方、グループワークの進め方などについて、発見した様々な疑問点を、都市経済学などの授業で提起し議論することができる。	3
		課題解決力	もりづくりワークショップ、如活祭、中山間地域の視察への参画	体験を通じて、森林保全・地域活性化のあり方、グループワークの進め方などについて、都市経済学や、演習の授業の中で、自らの発想・着想を表明することができる。	3
		情報受信力 情報発信力	都市経済学や、演習の授業の中でのディスカッション	体験を通じて得た疑問点、自らの発想・着想をもとに、各自で調べたことなども踏まえて、他者と議論を交わし、自らの理解を深めることができる。	3
		つなぐ力 導く力	都市経済学や、演習の授業の中でのレポート	体験・ディスカッション・調べ学習・授業からの情報などを通じて、森林保全・地域活性化のあり方、グループワークの進め方などについて、都市経済学や、演習の授業における、最終レポートとして、完成させられる。	3

		<p>目指す 学修成果</p>	
8	<p>関連する科目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市経済学（単位互換可能。なお、取得した単位を各大学・高等教育機関でどう読み替えるかについては、各大学・高等教育機関次第） ・ 福島大学経済経営学類 沼田教養演習 	